

国見町は、千年以上育まれてきた国見の歴史・伝統・文化をこれから百年後に伝えていくため、これらを生かした「歴史まちづくり」を進めています。このコーナーでは町や地域が行っている取り組みについて、毎月お伝えしています。

【歴史まちづくり推進室 ☎ 585-2967】
【あつかし歴史館 ☎ 585-4520】



国見小学校3年生が「内谷春日神社太々神楽」を学ぶ！

国見小学校の3年生が2月21日、町無形民俗文化財の内谷春日神社太々神楽について学びました。

内谷春日神社太々神楽保存会の佐藤清二会長から神楽の説明を受けた後、実際に神楽の舞を見ました。子どもたちからは「どうしてたくさんの種類の面が必要なんだろう」「笛をずっと吹いていると疲れないのかな」「太鼓に炎の飾りがついているのはどうしてだろう」などの質問がありました。その後、明治時代から現在まで継承されている衣装や面、楽器に触れる体験もしました。初めて持つ神楽笛や鼓の鳴らし方を教わったり、衣装を着たりした子どもたちからは「神楽



笛はリコーダーと違って強く息を吹かないと音が鳴らないことが分かった」「鼓は真ん中を叩くときれいなポンという音が鳴る」などの感想が述べられました。

内谷春日神社太々神楽保存会は、毎年9月から11月にかけて開催している「子ども太々神楽教室」で神楽の指導をしています。興味のある方はぜひ参加して、町のたからものを未来へ受け継いでいきましょう。



1「マンガで読む国見町内谷太々神楽物語」で解説
2保存会に所属する3年生の小林祐翔くんもたたき手として披露
312種類の面を組み合わせると26座の舞を舞います
4鈴の音の鳴らし方を教わります
5みんなで衣装を試着

国見の輝き人 ~国見町で活躍する人を紹介~ vol.3

今回は、国見町で東京2020オリンピック聖火リレーのランナーに選ばれた半澤滉憲さんに意気込みなどをお聞きしました。半澤さんは3月27日昼に走行予定です。みんなで応援しましょう!!

一応募のきっかけは

小学校のマラソン大会で1位になったことがきっかけで、また体が小さかったため体力づくりで毎日走るようになりました。中学1年生から3回ふくしま駅伝を走りました。校長先生から聖火ランナーの話聞き、今回応募しました。

一選ばれた感想を教えてください

12月になって突然連絡がきたので、最初はびっくりしたと同時に自分が選ばれると思わなかったのでも嬉しかったです。

今回走ることを一生の思い出にしたいです。

一意気込みをお願いします

今回の聖火ランナーは、多くの人に応援していただいているのでみなさんに感謝の気持ちを持って参加します。

国見町の代表として、町のみなさんの思いを込めた走りをしたいです。

応援よろしくお願いします。



県北中学校3年生
はんざわ 滉憲 さん
(前田)



本番に向けて練習する半澤さん

歴史まちづくり インフォメーション

あつかし歴史館特別展

『古画と写真でたどる国見町展』好評につき延長開催中！

令和元年11月からあつかし歴史館で開催している特別展「古画と写真でたどる国見町展」は、好評につき期間を延長して開催しています。

延長開催期間中は、古画と写真を織り交ぜ、昭和39年の東京オリンピックの聖火リレーを迎える日の町民の様子や明治から平成までの子どもたちの暮らしの様子を収めた写真などを展示しています。

国見町の歴史や、「懐かしいあの頃」を思い返すことができる特別展です。4月末までの展示を予定していますので、ぜひお越しください。



1徳江季節保育所の子どもたち(昭和53年) 2藤田商店街の七夕まつり(昭和35年頃) 3東京オリンピック聖火リレーを迎える小学生の列(昭和39年)



鈴木 緋那



加藤 沙菜



齋藤 琢磨

県北中学校 (1年生 技術の作品)



吉田 唯菜



八島 加奈



遠藤 翔太

いさな天オたち